

～東かがわ市～ 引田まち歩きマップ



譽田(ほんだ)八幡宮
引田の氏神で秋の大祭が10月の第2日曜日に行われます。御興渡御の際の勇壮な「投げ奴」は有名です。



かめびし屋
宝暦3年(1753)創業の老舗醤油屋。伝統製法「むしろこうじ」製法と築200年以上の蔵で長期熟成された醤油は、独特の風味と香りが特徴です。かめびし醤油の名称は歴史が長く、氏神のある亀山の「かめ」と醬(ひしお)から取ったといわれています。
●国の登録有形文化財に登録

東かがわ手袋ギャラリー



東かがわ市は全国シェア90%を誇る手袋の産地です。昔、手袋工場として使われていた蔵で、昭和の古いミシンや道具を展示、手袋の販売や革小物作りもできます。



讃州井筒屋敷

佐野家は高松藩の郷士といわれています。元禄年間に醤油の製造を開始し、その後、酒の製造も行っています。江戸末期からは農地の取得と耕地整理事業をすすめる、大正時代には県内有数の大地主となりました。醸造業は平成9年に廃業し、現在は観光施設となっています。建物は、江戸後期から明治期に建築されたもので、屋敷内の庭園が見所です。



円立院
法華経の寺院で成立は諸説あり。



木村家
江戸時代から続く医者の家。



松村家
江戸時代中期から引田村魚の棚において多嶋屋の屋号で魚の卸商を営んでいた商家です。建物は江戸時代末期の建築です。
●国の登録有形文化財に登録



泉家
海産物の販売を本業とするかたわら、酒、たばこの小売を行う商家でした。建物は江戸時代末期の建築です。
●国の登録有形文化財に登録



旧松村医院
昭和初期に建てられた建物。表の建物は母屋、裏の蔵は清酒の製造に使っていました。その後、医院として使われていました。
●国の登録有形文化財に登録



笠屋邸
江戸時代から続いた商家で「力の素」という辛口の清酒を製造販売していました。



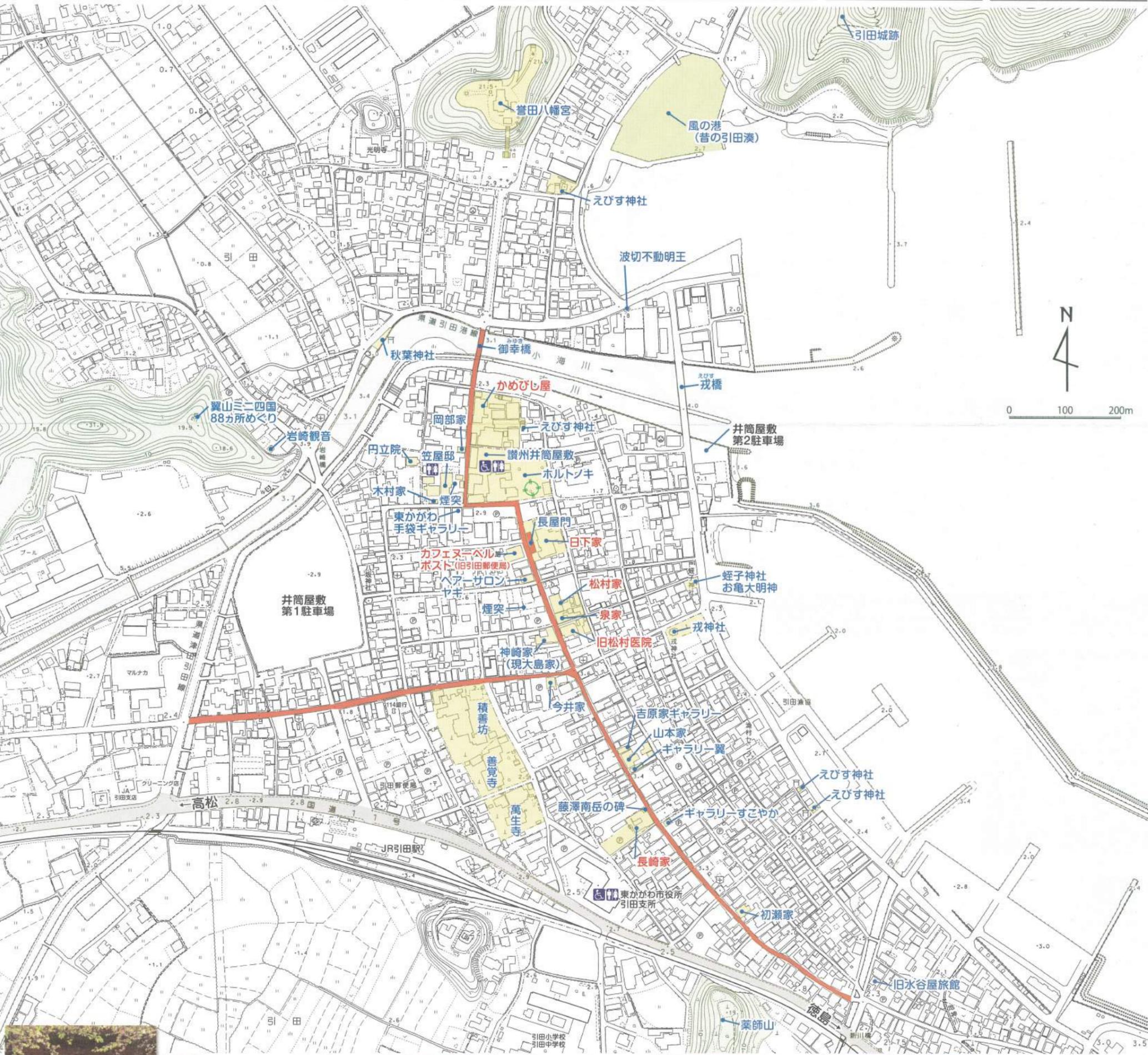
日下家
江戸時代には代々引田村の庄屋、大内郡の大庄屋を務めてきた家です。屋敷には風格ある長屋門、母屋が残っています。
●母屋と長屋門が国の登録有形文化財に登録



カフェ・ヌーベルポスト(旧引田郵便局)
昭和7年(1932)に日下家により建築された建物で、昭和52年まで開局していました。
●国の登録有形文化財に登録



ヘアサロン・ヤキ
県内最古の理容店。天保年間(1830~1844)にはすでに営業。現在7代目。
●国の登録有形文化財に登録



積善坊(しゃくぜんぼう) 四国一の仁王像
真言宗の寺院で、藩主松平頼重公の遊覧のおりの宿舎となり、客殿を新築し、寺号を西向寺積善坊と改めています。寺門の仁王像は江戸時代に作られ四国第一といわれています。作家 瀬戸内寂庵さんゆかりの寺。



善覚寺 引田城の門(伝承)
浄土真宗の寺院で、永正年中に創建し当初寺名を新坊と称していたが、江戸期前に現在の寺名に改めています。寺の門は、引田城の門を移築したと伝わっています。



萬生寺(まんしょうじ) 讃岐三十三観音の7番札所
真言宗の寺院で、永正年中に創建し当初寺名を新坊と称していたが、江戸期前に現在の寺名に改めています。歌手 笠置シズ子さんゆかりの寺



神崎家(屋号:米屋)(現大島家)
江戸初期から酒、醤油の醸造や廻船業で財をなし、引田村一の豪商でした。



山本家
明治37年(1904)に醤油の製造を始めた醸造元です。建物は明治時代の建築です。



藤澤南岳の石碑
藤澤南岳の石碑。天保13年(1842)引田生まれ。幕末に高松藩の危機を救った功労者。孫は小説家の藤澤恒夫。



長崎家
江戸時代から廻船業をしていた家です。明治時代中頃から醤油の製造も始めました。
●国の登録有形文化財に登録 (東大総長 南原繁先生療養の場所)

